

平成29年度 施策評価シート（平成28年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
 施策 03 防災対策の推進
 主管課： 交通防災課
 関係課： 財政課、社会福祉課、介護福祉課、都市計画課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 防災への取組によって、市民が安心して生活できるまちをつくる。
------------------------	-----------------------------------------------------

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

災害面で安全に暮らせると思う市民の割合 (%) 交通防災課					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
80.50	78.20	76.20	78.00	80.00	82.00
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値に比べ4.3ポイント、前年度比2.0ポイント減少しています。 (原因) アンケートでは、7割以上の市民が安全に暮らせる地域だと考えており、発災対応型防災訓練を継続して実施してきた結果、防災対策への取り組みが浸透してきたものと考えますが、「そう思わない」等の割合も22.2%ありますので引き続き防災対策の充実に取り組みます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決算	H27年度 決算	H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込
事業費合計	58,123	66,114	66,252	62,943	60,731
人件費	0	0	13,852	0	0
トータルコスト	58,123	66,114	80,104	62,943	60,731

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 市民の防災意識の向上	横ば	横ば	向上		4,972	1,805	939	2,885	2,885
02 災害時における行政による支援体制の強化	向上	向上			13,452	24,377	34,568	16,907	14,695
03 避難行動要支援者の避難支援	横ば	横ば	横ば		486	536	769	578	578
99 施策の総合推進					39,213	39,396	29,976	42,573	42,573

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

市民の防災意識や自主防災組織結成率の更なる向上を図るとともに、災害時の新たな情報伝達手段の実現に取り組みます。 防災備蓄品の計画的な更新を行い、食糧備蓄率の向上とアレルギー対応食の導入を図ります。 また、避難行動要支援者の避難支援への取組として、避難行動要支援者登録制度の周知を図り、地域における支援体制の整備に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

市民の防災対策への意識の高揚を図るため、防災講演会を開催するとともに、発災対応型防災訓練を実施し減災対策に取り組みました。また、備蓄食料品におかゆやビスケット、アレルギー対応粉ミルクを準備し備蓄食料品の多様化を図りました。なお、自主防災組織の新規結成と組織の活性化のための説明・相談を随時行い支援体制の強化を継続していく必要があります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

携帯端末用アプリを活用し、迅速に市民へ防災情報を伝達するとともに、被害情報の収集・共有に努めます。 自主防災組織の更なる結成及び既存組織の活性化を図るとともに、防災訓練を通して、防災体制の強化に努めます。 また、多様な事業者・団体との災害時協定締結に努め、災害時の支援体制強化を図ります。 避難行動要支援者制度に基づき、地域における支援体制を整備します。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持